

第4弾 自動配送ロボットの公道走行によるラストワンマイル配達

実験内容

貨客混載型の高速路線バスで名古屋市中区栄地区内のバス停留所まで輸送される「ウイングいちご」を、

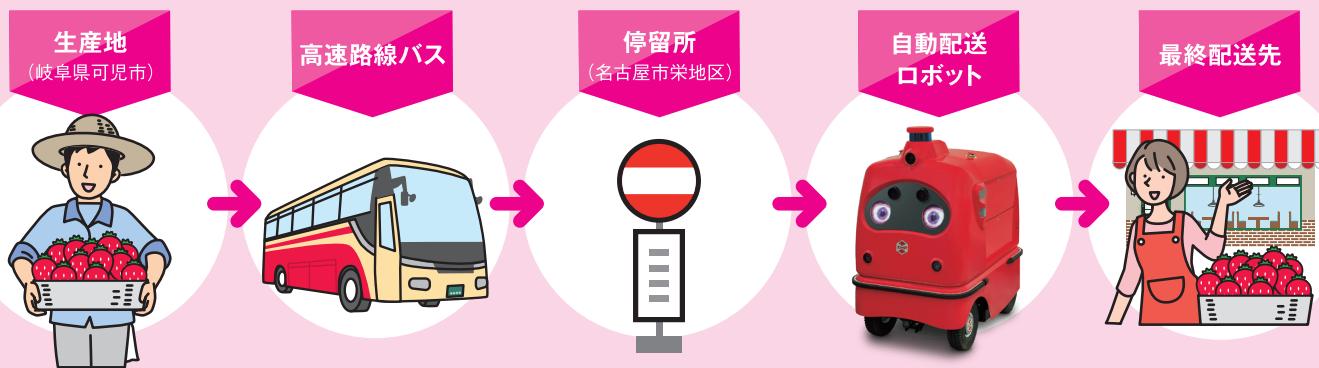
自動配送ロボットが最終配送先まで届ける公道走行実験を実施します。

本実証実験を通じて、貨客混載型輸送の課題となっているラストワンマイル課題の解決と、

自動配送ロボットの新たな活用方法の創出について検証します。

※中電ウイング株式会社が手掛けるブランドいちご

実施イメージ



1 岐阜県可児市で栽培される「ウイングいちご」を
高速路線バスにて、名古屋市栄の停留所まで輸送

2 停留所にて「ウイングいちご」を
自動配送ロボットへ詰め替え、最終配送先まで配達

自動配送ロボットの配送ルート



使用する自動配送ロボットと配送物



【配送物】「ウイングいちご」

【自動配送ロボット】DeliRo® (デリロ®)

株式会社ZMP

幅広い用途に応じて屋内外を自動走行できる配送ロボット。ビル管理システムなど、様々なシステムと連携することで、デリロがエレベーターを呼び出したり、注文にあわせて荷物の配達を行うことができる。歩行者の顔を認識し、走行中に笑顔で挨拶をするなど、かわいらしさ表情をうかべるのも特徴の一つ。

実施体制

- 中電ウイング株式会社(実証実験主体)
- 株式会社ZMP(ロボット提供・運行)
- 東濃鉄道株式会社(高速路線バスの運行)
- 株式会社アップクオリティ(貨客混載事業「あいのり便」の提供)
- 株式会社丸栄フーズ(いちごの配送先)